



ゲイリー C.K.ホナン 2014-15年度第1会長

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840

TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB

Symphony Weekly

No. 20

会幹 長事 君島 准 逸
 クラブ会報委員長 飯島 芳 臣
 第2週 小野垣 義 男
 例会 2015年2月13日(金)
 例 会 毎週金曜日 12時30分
 事 務 所 ホワイトイン高崎
 高崎市本町144-1
 光明第7ビル202号室
 TEL 027-328-3371
 FAX 027-328-3372
 http://www.takasakisympathy-rc.org
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見 洋子
 本日のプログラム ゲスト卓話
 (一財)群馬地域文化振興会
 常務理事・事務局長
 唐澤 至朗氏

ロータリーソング 我等の生業

- ・神戸東灘RC週報
- ・ロータリー国際囲碁大会のご案内
- ・高崎市国際交流協会会報「ともだち」

理事会報告

- ・周年行事出席承認の件(高崎東RC・伊勢崎中央RC・前橋南RC)
- ・高崎青年会議所事業への寄付承認の件
- ・ホワイトイン高崎総支配人様、勧誘の件
- ・入院会員へのお見舞いについて
- ・会員増強への目標再確認
- ・新規米山世話クラブ・カウンセラーの募集についての返答について

新会員推薦表彰
 島崎 真澄 会員 ロータリーピン授与



第870回例会報告

第1週2月6日(金)
 御来訪者 1名
 (株)ドンレミー 専務取締役
 (株)旅がらす本舗清月堂 代表取締役
 糸井 義一様



出席報告

会 員 数	40 名
出席計算人数	40 名
本日出席者	32 名
本日出席率	80.00%
先々週出席率	67.50%

幹事報告

- ・ガバナ一月信(2月号)
- ・例会変更

委員会報告

- ・御誕生日祝
 高橋 正光君
 八木建司朗君
 阿久澤 公君
 長井 典夫君
- ・結婚記念日祝
 宮田 正枝君
 豊泉 君代君
 佐藤 昭一君
- ・出席率100%
 三村 浩司君
 長井 典夫君
 豊泉 君代君
- ・ニコニコBOX
 吉本 賢二君(糸井さんをお迎えして)
 君島 准逸君(")
 白石 隆夫君(")
 泉 省平君(")
 八木建司朗君(母の葬儀ではお世話になりました)
 金子 秀隆君(糸井さんをお迎えして)
 井汲 憲治君(")
 西園 勲君(")





- 高橋 正光君 (御誕生日祝)
- 八木建司朗君 (//)
- 阿久澤 公君 (//)
- 長井 典夫君 (//)
- 豊泉 君代君 (結婚記念日祝)
- ・ロータリー財団BOX
- 長井 典夫君 小野垣義男君
- ・米山奨学会BOX
- 君島 准逸君 浦野 幸男君
- 駒井 和子君

次回例会予告

第3週 2月17日 (火)
 高崎セントラルRC・高崎シンフォニー
 RC合同親睦例会
 会場 ビューホテル
 受付 18:00 点鐘 18:30



「天地」への畏敬

(一財) 群馬地域文化振興会常務理事
 立正大学文学部講師 (非常勤)

唐澤 至朗

天地が鳴動しています。火山噴火・地震と津波・暴風雨や大雪そして大洪水に土砂災害などが近年頻発していますが、喧伝される地球温暖化に起因するとするよりは超長期的な地殻変動期に入っているとするほうが適切かもしれません。すなわち、異常気象も恒常化するということになるでしょうか。人々の営みを直撃する災害は、直ちに飢餓・貧困を拡大させ、社会不安を一層増大させます。自然現象は、神仏の責任ではありません。にもかかわらず、社会不安の増大は神仏の名を騙った偽教行動の温床となり、現に民衆の生命を危うくする事件が世界で勃発しています。このことを強く憂えています。

一方、我が国においては、自然災害に関わる遭難事故があとを経ちません。間近くも御嶽山噴火に遭遇された方々や、風雪のただ中で倒れた登山者が報じられています。痛ましいことであり、哀悼とともに遺族への同情の念を禁じ得ません。が、こうした様相は、今日に至る社会建設の過程で、我々現代人が天地への畏敬の念を忘失していることをも想わせるのです。

古来、人々は大いなる自然の姿に神仏の姿を見だし、はるか彼方に異界を想い、生活域の外縁に異界との接点すなわち交霊域を認識して、不用意な立ち入りを避けてきたのです。天上界(高天原・浄土)へは高山、地底界(黄泉・地獄)へは洞窟、水底界(綿津見・竜宮)へは水辺などが外縁であり、そこへの立ち入りは「生還を期しがたい」として殊に厳格な覚悟を課し、先達という指導者を要するとしたのです。山頂や水辺など各所の拝所や祠堂がそうした覚悟の証左であることを、今日どれだけの人々が継承し記憶しているのでしょうか。

「畏れる」は恐れるではありません。心身の鍛錬の程をわきまえてかきこまることを意味します。我々は、科学という新たな先達を得ましたが、人智は未だ神慮に遠く及ばずとして畏敬した先人たちの謙虚さに倣いつつ、日々の研鑽向上と備えとを怠らないことが大切でしょう。

(第2840地区・群馬県・高崎シンフォニーRCにて)

〈プロフィール〉

(一財) 群馬地域文化振興会
 常務理事・事務局長
 史学博士・立正大学文学部非常勤講師

新潟県教育庁学芸員採用後(1979)、群馬県教育委員会事務局、群馬県立歴史博物館勤務を経て、群馬県教育委員会事務局付所長・(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団事業局長を最後に定年退職(2013)。この間、群馬大学教育学部・立正大学文学部各非常勤講師。国際交流基金パリ日本文化会館派遣。石川薫記念地域文化賞「研究賞」受賞。現在、立正大学文学部非常勤講師。研究テーマは考古学的方法論を基とした民衆宗教文化史研究で、古代から現代に伝えられる日本人の他界観の解析をライフワークとしている。

主な著作

- 『藤原道長の遺産』(群馬県立歴史博物館)
- 『浄土へのあこがれ』(群馬県立歴史博物館)
- 『民衆宗教遺跡の研究』(高志書院)
- 他に共著・論文多数